

当院は ART 実施登録施設であり、下記の研究に協力しています

研究課題名

日本産科婦人科学会 倫理委員会登録・調査小委員会生殖補助医療（ART）登録事業及び登録情報に基づく研究

研究実施機関

ART 実施登録施設 （実施登録施設は日本産科婦人科学会 HP において公開）

研究代表者

日本産科婦人科学会 倫理委員会 登録・調査小委員会 小委員長 齊藤 秀和

対象となる方

2017年12月 日より 2026年12月31日までの間に、ART 登録施設で生殖補助医療を受けた方

本研究の意義、目的、方法

日本産科婦人科学会会員が ART を実施する場合は、ART 実施登録施設として登録し、その治療の詳細を症例毎に登録しています。また、この登録により、治療を受けた場合の助成を受けることも可能となっています。

従来から収集されたデータ解析により、治療成績などが解析、公表され、生殖補助医療を検討するご夫婦の参考資料となっています。加えて、登録情報は、日本産科婦人科学会倫理委員会登録・調査小委員会および臨床研究審査小委員会承認された場合に限り、様々な研究に2次利用されてきました。

本研究は ART データの2次利用を前提としています。個人情報に配慮して収集された情報を2次利用して行おうとする研究は、別途、個別に審査され、許可された研究の詳細は学会 HP に掲載されます。ご自分のデータを2次利用に用いて欲しくない場合は、オプトアウトの機会が保障されていますので、2次利用に用いて欲しくない研究に対して、個別に申し出てください。

本研究に同意いただかなくても、通常の ART を実施することは可能です。実施した ART はこれまで同様に、ART 実施・登録に関して同意いただいた上で一次登録され、個人情報保護の観点から慎重に登録、保管され、各自治体による助成制度にも連動することにご理解をください。なお、2次利用に関する同意が得られなかった情報は、2次利用をする場合に、個別に除外されます。

協力をお願いする内容

通常の治療を行った経過、結果（用いた治療方法、用いた卵子・胚の種類、採卵数、受精卵数など）は ART 登録として登録されています。これらのデータは、各自治体による助成制度や学会の制度と連動しているため、必ず登録されますが、得られたデータを別目的（2次利用）することに対する同意をお願いしています。

本研究で取り扱う患者さまの情報は個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で日本産科婦人科学会から提供され、使用します。

※研究への参加を希望されない場合には、お手数ですが、当院長までご連絡ください。